

## II 地域課題等の共有

ここでは地域課題等の共有について取り上げる。

シンポジウム（事業説明と意見交換会）、自治体関係者を含めた教職員の研修会（FD・SD）、自治体との実務者間意見交換会などを開催した。

学生コーディネーターは、茨城学の授業前に、地域で活動している団体を紹介する「イバラキカク」の司会を担当し、またその様子のフェイスブックページへの掲載も行っている。なお、同ページはCOC事業とCOCプラス事業を統合して内容を拡充した。



自治体関係者を含めた教職員の研修会



「茨城学」授業前の告知

## Ⅱ 地域課題等の共有 シンポジウム、FD・SDなど

### 1) COC事業シンポジウムの開催

日時：5月24日（水） 13:30～16:00

会場：第1部 茨城大学理学部K棟1階インタビュースタジオ

※第1部のみ、VCS配信

工学部：応接室

農学部：応接室

第2部 意見交換会 理学部K棟1階アクティブ・ラーニングスペース

#### プログラム

##### 【第1部】

開会挨拶 三村信男（学長）

社会連携センターの活動について 影山俊男（理事/社会連携センター長）

COCの活動と外部評価について 内田聡（学長特別補佐/COC統括機構副機構長）

COCプラスの活動及び今後の展開について 米倉達広（副学長/COC統括機構副機構長）

茨城大学の全学教育機構について 太田寛行（理事・副学長）

##### 【第2部】

意見交換会

テーマ 「教育・学生の地域活動」＋「社会教育」

「インターンシップ」

「産学連携」

茨城大学は、平成29年5月24日（水）、水戸キャンパス理学部K棟インタビュースタジオにて、「第4回 地（知）の拠点シンポジウム『活動報告と意見交換会』」と題するシンポジウムを開催し、市民、自治体関係者、他大学の教職員および本学の教職員・学生等86名が参加した。

三村信男学長の開会挨拶で始まったシンポジウム第1部では、影山俊男理事・社会連携センター長から、「交流、連携、未来へつなぐ」というスローガンのもと実施している自治体・企業等との連携など、さまざまな事業の運営について、昨年度の活動状況及び今後の事業展開について説明があった。

その後、内田聡学長特別補佐から、地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）の3年間の活動内容、外部評価並びに学術振興会による中間評価の結果、さらに平成29年度以降の展開について説明があった。続いて、米倉達広副学長から、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）「茨城と向き合い茨城に根ざし、未来を育む地域協創人材養成事業」の平成28年度実績と活動報告及び平成29年度の計画案をベースとした今後の展開について説明があった。

最後に、太田寛行理事・副学長から、茨城大学全学教育機構の各部門の役割や、3年次の第3クォーターにおける学外学修を促すiOP（internship off-campus program）について説明があった。あわせて、「H28 茨城大学学生の生活に関するアンケート」による学生生活満足度と学修成果達成度の報告、パートナー企業と県内自治体を対象としたアンケートによる茨大生の自己評価と就職先での評価について報告があり、本学卒業生の能力評価について高評価が多くあったことや、大学の教育改革に関する活動及び実践力、また、ディプロマ・ポリシーを公表し人材育成を行っている点で高評価を得られたことなどが紹介された。

シンポジウム第2部ではアクティブ・ラーニングスペースへ会場を移し、出入り自由なブースが3ヶ所設けられ、意見交換会が開催された。「教育・学生の地域活動」＋「社会教育」ブースでは、学生地域参画プロジェクト、公開講座等社会教育関係事業の紹介、「インターンシップ」ブースでは、インターンシップの動向やiOPの説明等、「産学連携」ブースでは、産学連携・企業連携の状況紹介、動画を活用した本学特許案件紹介、技術相談等が行われ、いずれのブースでも活発な意見交換が行われた。

本シンポジウムは、茨城大学社会連携センター、COC事業、COCプラス事業及び全学教育機構の取り組みの社会に向けた発信と、学内教職員に対するFD・SDとして位置付けられるものである。今後も各事業、プログラムを推進していく。



三村学長による開会挨拶



第1部会場の様子



第2部意見交換会の様子

## 2) 学生地域活動発表会 2017〈はばたく！茨大生〉の開催

日 時：平成29年12月13日（水）13：30～16：15

会 場：茨城大学 講堂

プログラム 【第1部】 学生口頭発表

【第2部】 ポスター展示／交流会

茨城大学では、12月13日（水）、地域でのボランティアや研究等に取り組んでいる学生たちのうち57団体がその活動について口頭やポスター展示などにより発表し、相互に交流するイベント「茨城大学学生地域活動発表会 2017〈はばたく！茨大生〉」を開催し、学生、高校生の他、自治体、企業などから併せて188名が参加した。

茨城大学の学生たちはこれまでも地域の中で展開されるさまざまな活動に参加、あるいは自らプロジェクトを企画・運営し、地域社会に関わってきた。近年は自治体や企業からの学生への期待も高まっており、本学では平成28年度にディプロマポリシー（学位授与方針）を定め、5つの茨城大学型基盤学力のひとつとして「地域活性化志向」を掲げ、全学部必修の授業「茨城学」の開講など、学生の地域志向を高め、活動を支援する全学的な仕組みを構築している。

今回の「茨城大学学生地域活動発表会 2017〈はばたく！茨大生〉」では、授業や学生プロジェクト、ボランティア、サークルなどさまざまな形で地域での活動を行っている学生たちが参加し、それぞれの取り組みをプレゼンテーションやポスターによって発表するもので、2016年より年に2回開催し、今回で3回目の実施となる。学生たちの活動は、耕作放棄地の再生、学生食堂のメニュー開発、ドローンを活用した地域活性化、自治体の観光PR動画制作など多岐にわたる。

口頭発表の後は、ポスター展示による取り組みの発表と、参加者が学生たちと直接交流する懇談の場が設けられた。

今後も、広く学生たちに呼びかけながら、さまざまな活動内容の地域への発信と、地域の方々から学生たちへの指導や助言を得られる場を設ける企画を継続していく。



三村学長による開会挨拶



学生の口頭発表



ポスター展示による発表

### 3) 「茨城学」のFD・SD

開講以来毎年、本学教員と「茨城学」FD・SDを実施し、課題の共有を図ってきた。平成29年度は教員とともに、自治体関係者、昨年度の受講生が一堂に会し、FD・SDを実施した。過去の授業資料と課題、アンケート結果、今年度の運営体制を把握し、授業目的を共有した。これにより、各担当者の授業運営に関する理解が深まり、事前の打ち合わせがスムーズになった。

日時：平成29年5月10日（水）13:00～15:00

会場：茨城大学 社会連携センター3階 研修室

参加者：自治体代表者21名（茨城県、阿見町、茨城町、大洗町、高萩市、東海村、日立市、常陸大宮市、常陸太田市、水戸市）

本学教員14名、学生4名

社会連携センター・COC統括機構(COC・COC+) 職員10名

議題：1. 「茨城学」授業内容

2. 「茨城学」平成28年度学生アンケートについて

3. 平成29年度「茨城学」授業について

4. 平成29年度「茨城学」のリアルタイム配信及び録画データの作成について(COC+)

5. 意見交換

6. 「茨城学@深掘りカフェ」（平成29年2月開催）と学生との意見交換

最初に「茨城学」担当者間で意見を交換した。「茨城学」の目標は茨城を題材にしながら、地域を考える力を身につけ、地域に役立つ人材を育てることを担当者間で確認した。授業課題についてはどの担当者も方向性を模索しているが、授業進度に応じて学生が考えやすいテーマを設定できるよう、授業運営側とともに検討することとした。

次に学生を交えて、授業内容の改善に向けて話し合った。学生からの要望により、資料に専門的だと思われる用語があれば、授業内での説明を心がけることとし、事前資料への疑問に対応する「質問箱」の設置を検討した。



#### 4) 連携提携先自治体との実務者間意見交換会

日 時：平成29年11月7日（水） 10：00～12：00

会 場：社会連携センター3階研修室

平成29年11月7日（水）、本学と連携協定を締結している自治体およびCOC事業において連携している自治体の実務担当者、10自治体（茨城県、阿見町、大洗町、鹿嶋市、高萩市、東海村、日立市、常陸大宮市、常陸太田市、水戸市）から13名の方にお集まりいただき、社会連携センター研修室において意見交換会を開催した。

出席者の自己紹介の後、今年度の茨城大学社会連携センターの取り組み、今後の茨城大学の社会連携の方向について報告させていただいた後、各自治体からは「市民・高校生・大学生・地域おこし協力隊」等と協働で取り組まれている活動や事業の事例が紹介され、最後に意見交換を行った。

社会連携センターでは、今後も引き続き当意見交換会を開き、連携協定に基づく活動状況の報告や確認、新しい動向等の情報交換、出席者による意見交換などを行い、より良い連携活動の展開につなげていく。



## 5) 情報発信

(1) ホームページ <http://www.coc.ibaraki.ac.jp/>

昨年度に開設された茨城大学COC事業ホームページは、現在、主にプロジェクトの紹介・報告、イベント情報の発信、外部評価結果、事業報告書等の掲載・更新をしている。

今後も適宜更新しながら、内外に向けた情報発信を密に行い、ホームページの機能を高めていく。



(2) フェイスブックページ <https://www.facebook.com/ibadaicoc/>

### ①活動の概要

平成 27 年度より開始した Facebook ページ「地域をデザインする茨城大学」に、「茨城学」授業ごとに報告を掲載した。また、オープンキャンパスの「茨城学」模擬授業、および「茨城学」授業前に学生の地域活動を紹介する「イバラキカク」については、学生コーディネーターが記事を書いた。また、11月1日をもって、本学COCプラスとFacebookページを統合した。

### ②活動の実績

平成 29 年 4 月から平成 29 年 12 月の期間で 34 件の更新を行った。内訳は下記の通りである。

- ・授業に関すること 21 件
- ・学生による発信 6 件
- ・関係教員の活動 3 件
- ・行事等 2 件
- ・その他 2 件

授業内容に関する投稿だけでなく、学生の活動紹介記事へのアクセスおよびリアクションも比較的大きく、関心の高まりが見受けられた。来年度の「茨城学」では、授業中で Facebook ページの告知を行ったり、QR コードを活用したポスター等を作成したりすることで、学生の閲覧を

促したい。そのことで、授業を題材にした学生同士のコミュニケーションの機会が増え、学習効果が高まることを期待する。

